

議 事 録

会 議 名	令和5年第4回刈谷警察署協議会（定例会）
日 時 ・ 場 所	<p>令和5年12月5日（火） 午後3時から午後4時30分までの間</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p style="text-align: center;">刈谷警察署講堂</p>
出 席 者	<p>1 委員 石川 博隆会長 佐野 眞澄副会長 藤田 綾委員 野々山 賢一委員 大見 浩明委員 森 繁俊委員 青木 健治委員 神谷 友理委員 近藤 純子委員 深谷 晴紀委員</p> <p style="text-align: right;">以上10名（定数10名）</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>2 警察署員 清永署長 中島警務課長 田邊生活安全課長</p> <p style="text-align: right;">以上3名</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>3 有識者等 なし</p>
諮 問 事 項 等	「自転車盗の現状と抑止対策の強化」
答 申 等 の 概 要	<p>1 広報活動による防犯意識、施錠意識の向上 2 仕掛学を活用した自転車盗対策を継続的に実施 3 各種ボランティア団体との連携の強化</p>
そ の 他	次回開催予定 令和6年2月ころ

会議の経過及び発言の要旨	
1	副署長挨拶
	11月28日人事異動に伴い、成瀬副署長が着任したため、委員に挨拶した。
2	会長挨拶
3	署長挨拶
4	連絡事項（署長説明）
	管内の犯罪発生状況
	県下及び管内の交通事故発生状況
5	前回の答申に対する具体的施策の推進状況
(1)	諮問事項
	効果的な警察広報活動の推進
(2)	答申事項
	ア 管内で発生した事案に対する広報の積極的な推進
	イ 警察が管理する広報媒体の更なる周知
	ウ 管内に通勤する者等、居住者以外の者に対する情報の周知
(3)	答申に基づいた施策の推進状況
	ア 答申事項アについて
	(ア) 管内で特殊詐欺の新たな手口である「自動音声による前兆電話」を 認知したことから、その日のうちに愛知県警公式Y o u T u b eチャ ンネルに掲載し、効果的な犯罪抑止対策を行った。
	(イ) 11月末現在のマスコミを通じた広報件数は68件、うち8月以降に27 件を行い、イベントの告知や犯罪発生、被疑者の検挙報道を積極的 に行った。
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
イ 答申事項イについて	
防犯パトロール隊への働き掛け、巡回連絡の広報、ミニ広報紙や交番新聞への掲載によりアイチポリスの登録件数が昨年12月末と比較し令和5年10月末の時点でほぼ倍増した。	
ウ 答申事項ウについて	
企業、団体等に対して防犯情報、交通安全情報等を配信する「すぐメール」を活用し情報を配信したり、企業や各種団体で開催される研修会等の機会に防犯情報や交通安全広報等を実施した。	
今後も引き続き、世代ごとに効果的な広報手段を用いて広報活動を行っていく。	
6 諮問	
(1) 諮問事項	
自転車盗の現状と抑止対策の強化	
(2) 諮問事項の設定理由（生活安全課長説明）	
ア 刈谷市内の刑法犯の認知件数は10月末で768件、前年同期比で217件の大幅な増加となっている。その中で自転車盗は254件で全体の約33パーセントを占め市内で一番発生の多い犯罪になっている。	
イ 当署では仕掛学を活用したタグを無施錠の自転車に取り付ける自転車盗対策を2か所の駐駐輪場で3か月間試験的に行った。結果は、無施錠率は低下したものの、1か所の駐駐輪場で自転車盗の被害は増加した。	
ウ 軽微な犯罪とされる自転車盗や万引き等を放置すると、大きな犯罪を招くため自転車盗の抑止対策を強化する必要がある。	
記録者	警務係長

会議の経過及び発言の要旨			
7 協議			
委員	<p>・ テレビでよく見る警察24時は、テレビ側は制作費がかからず、警察側は警察の取り組みを市民に周知することができ、両者にとって利点があると聞いたことがある。テレビで自転車盗について取り上げてもらってはどうか。</p>		
委員	<p>・ 我が子のことであるが、子供のうちから施錠するようしつけをしたら、今では習慣となり当たり前のように施錠している。子供の頃から様々な機会を通じて施錠することを指導し、習慣化することが重要である。（他に同様の意見1名）</p> <p>また、大人になっても施錠しない者については、何故施錠をしないのかを分析しなければならない。</p>		
委員	<p>・ 10年以上前のことであるが、傘立てから他人の傘を盗んでいく者が多く、世間では傘に財産的価値がないのだと思ったことがある。</p> <p>今、自転車も傘と同じ程度の価値になってしまったのではないか。</p>		
警察	<p>・ 昔は何万円もした自転車が安価になり、数千円で買えるようになった。今は昔より自転車に愛着を持っている者が少なくなっている印象がある。</p> <p>・ 刈谷市は平坦な地形のため、自転車は移動するのに便利な乗り物である。泥棒も自転車という「乗り物」が欲しいのではなく、「移動するための手段」として自転車を盗んでいる。このため、移動先で自転車を放置するので、放置自転車が多く、また被害者も買い直せば良いとの思いから被害届を出さない人が多い。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>記録者</td> <td>警務係長</td> </tr> </table>	記録者	警務係長
記録者	警務係長		

会議の経過及び発言の要旨	
	・ 「ちょっと借りる」は泥棒だという意識を持ってもらう必要がある。
委員	・ 自転車を止めるときには施錠をする、自転車を盗むのは泥棒であることを根気強く周知していくことが必要。
委員	・ 軽微な犯罪を放置するとエスカレートする。報道発表することで抑止効果があるのではないか
委員	・ 仕掛学を用いたタグについて、施錠率が向上したのであれば効果があったと思う。今後も継続すべきである。（他に同様の意見1名）
委員	・ 6月に稲沢で同様の施策をした際に被害が減少したと新聞記事で見たが、刈谷市では何故増えたのか。
警察	・ 仕掛学の効果はあると思料されるものの、それ以上に自転車の台数が増え、仕掛学のタグがつけ切れていないのではないかと考えている。
委員	・ 管内にある防犯カメラを活用し被害時間、被害場所の傾向を分析して期間を限定し捜査員を集中投入してはどうか。
委員	・ 自転車盗も防犯カメラで犯人がわかったという事例を周知できれば抑止に繋がるのではないか。
委員	・ 泥棒が移動の手段として自転車を盗むのであれば、考え方を改めて、行政と連携し誰でも使えるシェアサイクルを導入してはどうか。 無料で乗れる自転車があれば、移動の手段として盗む人を減らせるのではないか。（他に同様の意見2名）
	記録者
	警務係長

